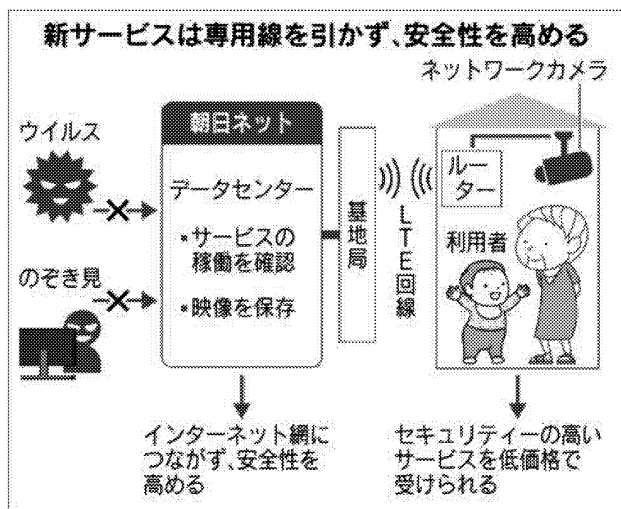


監視カメラ映像漏洩防げ

朝日ネットとサン電子

朝日ネットとIT機器製造のサン電子は今月下旬から、ネットワークカメラ向けに映像漏洩を防ぐ新サービスを始める。インターネット網につないでいない安全性の高い専用サーバーからカメラの稼働状況を確認でき、専用線を引くなどの大がかりな工場の必要がない。両社は2017年度中に保育所や工事現場など500件の導入を目指している。

ネット非接続のサーバーに保存 大がかりな工事不要



開発したルーターに固定のIPアドレスを付与する。カメラが撮影した映像はルーターから基地局を通じて、朝日ネットの管理するデータセンターに保存される。データセンターはインターネット網につながらないため、外部への情報漏洩の危険を防げる。

サービス利用料は映像を7日間保存するプランであれば月額5千〜6千円。90日のプランでは7千〜8千円。別途、ネットワークカメラやルーターの費用がかかる。ネットワークカメラはネットワークに接続し、ロシアのサイトが世界の約7300台から漏れた映像を集めていたなど、問題となっていた。これまで安全性の高いネットワークカメラを利用するには、個別に専用線を作っていた。ただ、ビルによっては専用線を敷設しづらく、費用が高かった。アイストリクスが開発したカメラを使えば、より低価格でセキュリティ性能の高いサービスを利用できる。サン電子のルーターはセ氏マイナス20度からプラス60度まで稼働できるなど耐久性が高い。両社は保育所などのほか、無人での監視が必要なダムや太陽光発電所などでの利用を見込んでいる。(大西綾)

を通じて、朝日ネットの管理するデータセンターに保存される。データセンターはインターネット網につながらないため、外部への情報漏洩の危険を防げる。